

## 01. 概観

カナリア諸島は、スペイン本土より南西へ約 1,100km、アフリカのモロッコ及び西サハラの沖約 100～500km の大西洋にあり、マドリッド及びバルセロナからは飛行機で 2 時間半～3 時間半程。諸島の標準時間はスペイン本土より 1 時間遅く、グリニッジ標準時と同じである。

日本ではカナリア諸島はスペイン領カナリア諸島と表されることも多いが、8 つの島でスペインの 1 自治州を成しており、アンダルシアやバレンシアと同様にスペインの 1 地方である。

東側のグランカナリア島、ランサローテ島、フェルテVENTOURA島の 3 島、そして 2018 年 11 月にカナリア諸島の 8 番目の有人の島として認められたラグラシオサ島を加えた 4 島からなるラスパルマス県と、西側のテネリフェ島、ラパルマ島、エルイエロ島、ラゴメラ島の 4 島からなるサンタクルス・デ・テネリフェ県に分かれている。

カナリア自治州の首相府(PRESIDENCIA)は、4 年の任期毎に、ラスパルマス県の県都であるラスパルマス・デ・グランカナリア市と、テネリフェ県の県都であるサンタクルス・デ・テネリフェ市に交互に設置される。

人口は諸島全体で約 217 万人(以下人口は 2021 年 1 月現在)。

カナリアの名前は、その昔多くの犬が居たことからラテン語の犬(CANIS) が語源となったと言われており、鳥のカナリアはカナリア諸島が原産であることから名前がついた。

気候は 1 年を通じ温暖で、島によって異なるが、平均最低気温は冬でも 15 度ほどで、夏場の平均最高気温は 27～29 度程度。アフリカに近い東側の島々は非常に乾燥しているが、西側の島々は緑豊かである。海沿いの低地では冷暖房を特に必要とせず、常春の島と呼ばれるが、高い山のある島の山岳部では冬には雪が降る。普段はアソーレス諸島からの貿易風が吹いているが、時折サハラ砂漠の砂塵を含んだカリマ(CALIMA)と呼ばれる黄砂が吹くことがある。

元々は、北アフリカ系の先住民が麦の栽培や山羊の飼育などをして暮らしていたと言われており、15 世紀カスティーリヤ王国に征服され、混血したため現在先住民は存在していない。

スペイン人の他、ヨーロッパや南米を始めアフリカ、アラブ、アジアと多種多様な地域の外国人(および外国出身のスペイン国籍取得者)が住んでいる。在留外国人数は約 29 万人で全体の約 13%。

言語は本土と同じくスペイン語である。リゾート地域、ホテル等以外では英語はあまり通じない。

対日感情は良く、日本のマンガやゲーム、その他の文化に憧れる若者も少なくない。

治安は、観光地、繁華街、港付近等では、置き引き、ひったくりなどに注意が必要であるが、ピストル強盗や観光客の殺人事件などは殆ど無く、マドリッド、バルセロナ等の大都市に比べ治安は良いと言える。

## 2. 文化

スペインは地方毎に異なる文化を持つ国であるが、特にカナリア諸島は、地理的及び歴史的条件により独自の文化を持っている。

シルボ・ゴメロ(SILBO GOMERO)と呼ばれるラゴメラ島の口笛言語があり、ユネスコの無形文化遺産に指定されている。

スペイン本土では人気が高い闘牛は当地ではポピュラーではなく、カナリアでは 1984 年 1 月にテネリフェ島での開催を最後に闘牛は行われていない。1991 年にはスペインで初めて、州議会で動物

を虐待する行為を禁じる動物保護法が可決された。

カナリアの民謡には、4〜5弦の小型のギターのようなカナリア特有の弦楽器ティンプレ(TIMPLE)が使われる。

諸島出身の芸術家には、ルイス・ブニュエルにより映画化された「エル」の作者であるテネリフェ島出身の女流作家メルセデス・ピントや、同監督の作品でカリーヌ・ドヌーブ主演の映画「哀しみのトリスターナ」等の原作者であるグランカナリア島出身のベニート・ペレス・ガルドス、また同島出身のテノール歌手アルフレド・クラウスがいる。国際的にも著名な芸術家セサル・マンリケはランサローテ島、欧米や日本でも人気の高級婦人靴のデザイナーで、その半生が映画にもなったマノロ・ブランิกはラパルマ島出身である。

スポーツでは、相撲に似た伝統的な格闘技ルチャ・カナリア(LUCHA CANARIA)がある。やはり丸い土俵の中で行われ、ルールも日本の相撲と似ているが、競技は両者が組んだところから始まり、着衣(半袖シャツと半ズボン)で行われる。

ヨットやウインドサーフィン等のマリンスポーツも盛んで多数の世界チャンピオンを輩出しており、また、プロリーグのあるバスケットも人気である。

しかし、やはり一番の人気スポーツはサッカーである。2017-2018年シーズンに1部リーグから降格したグランカナリア島のサッカーチーム UD ラスパルマス、並びに鹿島アントラーズから柴崎岳選手が一時期移籍したことで話題を呼んだテネリフェ島の UD テネリフェの2チームが2部リーグに属している他、多くのサッカーチームがある。2010年にワールドカップ南アフリカ大会で優勝した際のスペイン代表選手のペドロ・ロドリゲスはテネリフェ島、同じくダビド・シルバはグランカナリア島出身である。

### 3. カナリア料理・特産品

カナリアの伝統的な食品として、カナリアの先住民が主食にしていたゴフィオ(GOFIO)がある。これは、日本ではたい粉、香煎又は麦焦がしなどと呼ばれる煎ったとうもろこしや小麦を粉にした物で、練って丸めて、またつぶしたバナナ等と混ぜて料理に付け合せたり、またはスープで練ってペーストにして食する他、お菓子やデザートにも使われる。

また、当地にはモホ(MOJO)という赤と緑の2種類の薬味ソースが有り、いろいろな料理にかけて食する。赤はにんにく、クミンシード、唐辛子をつぶし、パプリカ、酢、オリーブ油を加えた物(トマトを入れる場合や、バリエーションとしてアーモンド入りもある)、緑は、パクチーかイタリアンパセリをニンニク、クミンシードとともにつぶして作り(バリエーションとしてアボカドやアーモンドを入れることもある)、主に魚料理に使われる。

当地では、牛、豚、鶏の他、羊や山羊、ウサギの肉もポピュラーである。魚は種類も多く、鯛、マグロ、イカ、タコ等も食するが、郷土料理では生では食わず、焼いたり揚げたりして食する。アドボ(ADOBO)と呼ばれる薬味ダレで、豚肉やウサギ、レバー、マグロなどに下味をつけてから調理する事も多い。付け合わせはジャガイモが一般的であり、野菜料理はあまり種類が無く、サラダか野菜たっぷりのスープ、ポタヘ(POTAJE)等で食することが多い。

・カナリア料理の定番料理(島によっても多少異なる)

・パパス・アルガーダス・コン・モホ(PAPAS ARRUGADAS CON MOJO)

多量の粗塩でゆでた皮付きの小さなジャガイモに、モホ(赤の場合が多い)をかけて食する。

・パタ・デ・セルド(PATA DE CERDO)

豚のモモの丸焼き。スライスしたものはチーズやパパス・アルガーダスと共に、当地で最もポピュラーなつまみの 1 つで、スペイン風サンドイッチであるボカディージョ(BOCADILLO)の具としても好まれている。

・ゴフィオ・エスカルダード(GOFIO ESCALDADO)

ゴフィオを、パクチー等香辛料が効いた魚のスープや、肉またはプチェーロのスープで柔らかく練り、スプーンまたは生の玉ねぎの一片で食する前菜。

これら 3 つは、酒のつまみとしてとてもポピュラーである。又この他、次のような郷土料理がある。

・ランチョ・カナリオ(RANCHO CANARIO)

肉、豆、ジャガイモのパスタ入りスープ煮。

・プチェーロ・カナリオ(PUCHERO CANARIO)

各種野菜と肉、腸詰め類、ガルバンソ豆(ひよこ豆)のスープ煮で、スープと具を分けて食する。

・ロパ・ビエハ(ROPA VIEJA)

古い洋服と言う意味のこの料理の名前は、前述のプチェーロなどで残った肉を使って作ることから来ている。肉、ジャガイモ、ガルバンソを、ニンニク、たまねぎ、トマト、パプリカや香辛料と煮た料理。肉は使わず同様に作るタコ(PULPO)のロパ・ビエハもある。

・コステージャス・コン・パパス・イ・ピーニャ・デ・ミージョ(COSTILLAS CON PAPAS Y PIÑA DE MILLO)

塩漬豚あばら肉とジャガイモ、トウモロコシを茹で、モホソースやオイルとビネガーをかけて食する。

・ワイン:

諸島内には 10 ヶ所 のワインの D.O.P.(DENOMINACION DE ORIGEN PROTEGIDA:保護原産地呼称制度認定産地)があり各島でワインが作られているが、その内 5 つはテネリフェ島にある。

フェルテVENTOURA島以外の島のワインも D.O.P.に認定されており、特にランサローテ島産の白ワインは非常に人気があり、日本人にも好まれている。

グランカナリア島でもワインが生産されているが、島特産のラム酒(RON)が有名で、蜂蜜入りラム酒(RON MIEL)も人気がある。

・チーズ類:

牛や羊、山羊の乳を使い、各島で個性豊かな物が作られている。

豆腐のようなフレッシュチーズ: ケース・ティエルノ(QUESO TIERNO)、スモークチーズ: ケース・アウマード(QUESO AHUMADO)、ゴフィオやパプリカをまぶし熟成させたチーズ: ケース・クラード(QUESO CURADO)他、種類は豊富で、特にグランカナリア島北西部で作られている野アザミの花で凝乳したケース・フロール・デルギア(QUESO FLOR DEL GUIA)は、ラパルマ島のケース・パルメロ(QUESO PALMERO)やフェルテVENTOURA島のケース・マホレロ(QUESO MAJORERO)と共に、D.O.P.に認定されている。

焼いた、または揚げたチーズにモホソースやトマトやパプリカ等のジャムをかけたものや、熟成チーズを下ろしてモホソースと練ったパーティー: アグロモロテ(ALMOGROTE)なども酒のつまみとして食する。

・腸詰め類:

ラパルマ島やグランカナリア島のペースト状チヨリソヤ、グランカナリア島のアーモンドや松の実、シナモン等が入ったブラッドソーセージ:モルシージャ(MORCILLA)等がある。

・その他農作物:

カナリア諸島を代表する作物はバナナとトマトで、その他にはパプリカ、キュウリ、たまねぎ等の野菜やオレンジ、アボカド、またパイナップル、パパイヤ、マンゴー、サボテンの実等のトロピカルフルーツ等をイギリスやオランダ等に輸出している。

グランカナリア島のアガエテでは、ヨーロッパで唯一コーヒーが栽培されている。

#### 4. 土産

先住民が使った、ピンタデーラ(PINTADERA)と呼ばれるスタンプの伝統的な幾何学模様を生かした民芸品や、カナリア建築の特徴である木彫細工が施された木箱等があり、これらの民芸品は、各島の観光地、旧市街等にある民芸品店や土産物店及びデパートで売られている。

この他、カナリアワイン、モホソース、特産のアロエを使った化粧品、ヨーロッパで唯一のグランカナリア島アガエテで栽培されているコーヒー、同じくグランカナリア島特産のラム酒やリキュール、ラパルマ島産の葉巻、また値は張るが、カラード・カナリオ(CALADO CANARIO)と呼ばれるドラゴン刺繍、柄の部分の細工がきれいなカナリアナイフや、カナリア民謡に欠かせない手作りの楽器ティンブレもよい。

#### 5. 観光

ここ数年はコロナウイルス流行の影響で観光客数は落ち込んでいたものの、カナリア諸島は主にヨーロッパ各国から毎年 1,500 万人以上の観光客が訪れ、クルーズ船も年間 1,000 隻前後が寄港するリゾート地である。諸島内には 7 つのユネスコの生物圏保護区、3 つの海洋保護区、4 つの国立公園、4 つの世界遺産があり、温暖な気候と整ったリゾート施設により、海水浴、マリンスポーツ、ゴルフ(同諸島内には 25 ヶ所以上のゴルフ場がある)、その他のアウトドアスポーツを 1 年中楽しむことが出来、また、マラソンやウルトラトレイルレース、ヨットレースなども頻繁に開催されている。

2 月から約 1 カ月にわたって各地でカーニバルが開催され、カーニバルクィーンやドラァグクィーン、ムルガ楽団、ダンスグループ等のコンテストや大がかりな山車のパレードが行われる他、市民もパーティーに仮装して出かけたり、子供達も仮装して登校したりと盛り上がる。

スペインでは同性の結婚が認められており、特に当地はセクシュアルマイノリティーに対し寛容であるため、国外からも多くの同性のカップルがバカンスや、グランカナリア島南部で毎年開催されているプライド・パレード等に訪れる。

当地の商店では、トラベラーズチェックは取り扱っていない。

また、クレジットカードを使用する際には身分証明書の提示が求められることもある。

#### 6. グランカナリア島 (GRAN CANARIA)

人口約 85 万 3 千人、うち外国人は約 8%。面積は約 1,560 km<sup>2</sup>で、周囲約 240km のほぼ円形を

成しており、その景観の多様性等から「ミニチュアの大陸」とよばれている。砂丘やビーチが連なる島南部はリゾートホテルが立ち並ぶ観光地が続き、切り立った溪谷や松林に覆われた山々が内陸部に広がる。

#### ラスパルマス・デ・グランカナリア市 (LAS PALMAS DE GRAN CANARIA):

諸島最大の都市で、ラスパルマス県の県都。人口は約 38 万人。

気候学者トーマス・ウィントモアが 1996 年に発表した研究(Pleasant Weather Ratings)では、気温、降水量、日照時間等から評価した世界 600 都市の中、当市が“世界で一番気候の良い都市”とされている。

コロンブスがアメリカ大陸発見の際に寄港しており、豪華クルーズ船も、通常は年間 500 隻以上入港する港町。毎年 11 月に開催される ARC 大西洋横断ラリーの出港地である。

古くから日本のマグロ漁船団の海外基地となっており、スペインで最初の日本食のレストランや日本人学校(2001 年に閉校)が出来たのも当市である。

約 3km にわたるラスカンテラス海岸(PLAYA DE LAS CANTERAS)では、ビーチに沿って設置された遊歩道にレストランやショップが並んでおり、一年を通して多くの観光客や市民で賑わう。

港地区には科学技術博物館(MUSEO ELDER DE LA CIENCIA Y LA TECNOLOGIA)や、36m×7m の世界最大級の曲線形アクリルパネルの大水槽があるポエマ・デルマル水族館(ACUARIO POEMA DEL MAR)がある。

大聖堂を中心とした古い町並みのベゲタ(VEGUETA)地区には博物館や劇場が集まっており、レストランやタパスバーなども多数ある。

#### 島南部リゾートエリア:

島の南部は、数十 km にわたり、サンアグスティン(SAN AGUSTIN:ラスパルマス市より 50Km)、プラヤ・デル・イングレス(PLAYA DEL INGLES:同 53Km)、マスパロマス(MASPALOMAS : 同 60Km)、プエルト・リコ(PUERTO RICO : 同 70Km)、プエルト・デ・モガン(PUERTO DE MOGAN:同 75Km)、といったリゾートホテルや娯楽施設が建ち並ぶ観光地が続く。

マスパロマスには約 400 ヘクタールの広大な砂丘ドウナス・デ・マスパロマス(DUNAS DE MASPALOMAS)があり、その景色は壮観で観光名所として特に有名である。

#### アルーカス (ARUCAS)

人口約 3 万 9 千人。ラスパルマス市より約 12km 離れたバナナ畑の多い地域にある。

この町で産する石で建てられた、60m の塔を持つ美しいネオゴシックのサン・フアン・パウティスタ教会(IGLESIA DE SAN JUAN BAUTISTA)がある。

島の特産のラム酒(RON)製造の町として有名である。

#### テロール(TEROR)

人口約 1 万 3 千人。グランカナリア島の守護聖母として島民の信仰を集めている聖母 ビルヘン・デル・ピーノ(VIRGEN DEL PINO)を祀ったヌエストラ・セニョーラ・デル・ピーノ大聖堂(BASILICA DE NUESTRA SEÑORA DEL PINO)があり、毎年 9 月の祭りには、島中から人が集まる。多くの人々がラスパルマス市内から、20km の道のりを徒歩で参拝する。

旧市街が国立歴史芸術地域に指定されており、毎週日曜(9:00~15:00)には 200 年の歴史を持つ青空市場が開かれ、約 140 のスタンドで民芸品、特産品や衣類などが販売される。

#### ヒロシマ・ナガサキ広場 (PLAZA HIROSHIMA Y NAGASAKI):テルデ(TELDE)

1982年のスペイン NATO 加盟に異議を唱え、非核都市を宣言した人口約 10 万 3 千人のテルデ市は、1996 年、市の中心部に近い一角にヒロシマ・ナガサキ広場と名付けた小さな公園を造り、戦争放棄を定めた日本国憲法第九条のスペイン語訳が記されたタイルの「モザイクの記念碑」(MOSAICO CONMEMORATIVO)を設置した。

#### クエバ・ピンターダ (CUEVA PINTADA)

島の北部の町、人口約 2 万 4 千人のガルダル(GALDAR)の中心部にある先住民の集落跡が、考古学パーク博物館として整備され一般に公開されている。入場人数が制限されているので予約が必要である。(http://www.cuevapintada.com)。

また、隣町サンタ・マリア・デ・ギア(SANTA MARIA DE GUIA)の町郊外にあるセビオ・デ・バレロン(CENOBIO DE VALERON)は、先住民が穀物の貯蔵庫等として使っていた、300 以上の洞窟が蜂の巣状に残っている。

#### リスコ・カイドと聖なる山々 (RISCO CAIDO Y LAS MONTAÑAS SAGRADAS DE GRAN CANARIA)

先住民の遺跡である島北西部の約 100m の断崖に掘られた洞窟群と、聖なる岩として先住民が崇拝していた高さ 80m のロケヌーブロ(ROQUE NUBLLO)やベンタイガ(BENTAYGA)等の大岩を含む聖なる山々が、文化的景観として 2019 年に世界文化遺産に登録された。倉庫等として使われていた 21 の洞窟の中 2 つは天体観測や宗教行事に使用されたと考えられている。

近くの人口約 2 千人のテヘダ(TEJEDA)の村は、スペインの最も美しい村々(LOS PUEBLOS MÁS BONITOS DE ESPAÑA)の村の一つに、グランカナリア島から唯一選ばれており、桜によく似たアーモンドの花の祭りが毎年 2 月の開花に合わせて開催され、多くの観光客が春の訪れを祝う。

### 7. ランサローテ島 (LANZAROTE)

佐渡島ほどの大きさの島で、人口は約 15 万 6 千人、その約 23%が外国人である。アフリカから約 100 km、面積は 900 km<sup>2</sup>、高い山はない(最高地点 670m)。島都は人口約 6 万 4 千人のアレシフェ(ARRECIFE)。

気候は乾燥しており緑地はほとんど無く、火山活動による溶岩とスコリアの異様な風景と透き通った海と白い砂浜のコントラスト、黒い火山礫を利用した独特なうろこ状のブドウ畑、白壁に緑の窓の家々等がすばらしい景観を創っている。

ランサローテ島の景観について語るとき、当島出身の芸術家セサル・マンリケ (CESAR MANRIQUE :1912-1992)を忘れることは出来ない。彼は数々の芸術文化観光センターやオブジェ等を創り、島全体の発展計画を実行しつつ、島の自然美保護のため尽力し、島民の社会意識を高めた。

火山灰の土壌で作る特産の白ワインは人気である。

#### ティマンファヤ国立公園 (PARQUE NACIONAL DE TIMANFAYA)

テネリフェ島のティデ山国立公園と共に、スペインで最も観光客の多い国立公園である。

18~19 世紀の火山活動の中心地であった 51km<sup>2</sup>が保存区域となっており、約 14 kmの見学コースを専用バスで廻るツアーの他、ガイド付きの徒歩コース、ラクダに乗って行くコース等がある。

地面から数センチほど掘られた摂氏約 400℃の穴に水を注ぐと、瞬時に水蒸気となって吹き上がり、枯れ草を入れるとすぐ燃え上がる様を見学することが出来る。

マンリケがデザインした見晴らしのすばらしいレストラン、エルディアブロ(EL DIABLO)では、地熱を利用した料理を提供している。

#### ハメオス・デル・アグア (JAMEOS DEL AGUA)

海岸近くの火山洞の天井部分が崩れて出来た 3 つの空洞。盲目の白い蟹が生息している海水の浸透により出来た湖やカフェテリア・レストランがあり、音楽堂ではコンサート等が開催されている。

#### リオ展望台 (MIRADOR DEL RIO)

19 世紀末の要塞があったファマラの岩山の海拔 400m にある展望台。エル・リオ(EL RIO:川)と呼ばれる海峡を挟んで、ラグラシオサ(LA GRACIOSA)島(8. ラグラシオサ島参照)他 4 島からなるチニホ(CHINIJO)諸島が見える絶景ポイントである。

#### ラヘリア (LA GERIA)

多いところでは 2m 以上も火山礫が積もった地域に、うろこ模様のようなブドウ畑が広がる。火山岩を積んで周りを囲ったすり鉢状の窪みにブドウを植えるこの島独特の農法により、ブドウ畑は独特の模様を成している。また、近辺には見学も可能なワイナリーも多数ある。

### 8. ラグラシオサ島 (LA GRACIOSA)

ヨーロッパ最大の自然保護区である小島郡のチニホ諸島で一番大きく、唯一有人の島。

2018 年 6 月にスペイン上院自治州委員会で、カナリア自治州 8 番目の有人の島と認められ、さらに新カナリア自治州基本法が 11 月に施行し、はれてラグラシオサ島はカナリア諸島第 8 の有人の島と認められた。今のところ他の島のような独自の行政組織を有しておらず、ランサローテ島の行政管理下に置かれ、同島のテギセ市に属している。

面積は 29 km<sup>2</sup>程、人口は 725 人で、そのほとんどが漁業又は観光関係に従事している。透き通った水と黄金色の砂浜が広がる静かな島には舗装道が無く、交通手段は徒歩かレンタルの自転車やバギーカー、または島のタクシーのみである。島には、砂の道に白い家並みの住民が住む集落と、観光客用宿泊施設がある集落が1つずつある。その他の島々を船で周遊するツアーもある。

ランサローテ島のオルソラよりフェリーで約 20 分。

### 9. フエルテVENTURA島 (FUERTEVENTURA)

面積は約 1,660 km<sup>2</sup>でカナリア諸島で 2 番目に大きい島であるが、人口は約 12 万人と少なく、その約 30%が外国人である。島都は、人口約 4 万 2 千人のプエルト・デル・ロサリオ(PUERTO DEL ROSARIO)。アフリカ大陸から 100km 弱の距離にある。

フェリーで 15 分ほどの隣のランサローテ島と共に非常に乾燥した島である。島内には 150 カ所以上の砂浜が有り、ターコイズブルーの海と手つかずの白砂のビーチの多さと美しさはカナリア随一である。フィッシングやダイビングの他、風が強いためウィンドサーフィンに最適で、ワールドカップも開催されている。

島特産の山羊の乳のチーズは、国内外の品評会で何度も賞を獲得している。

#### コラレホ(CORRALEJO)

島の北西部にあるリゾート地で、複数の砂浜があり、2 km程沖にある面積約 6 km<sup>2</sup>の小島、ロボス島 (ISLA DE LOBOS)国立公園には、毎日定期便が数往復している他、観光船も出ている。南側にはコラレホ砂丘自然公園(PARQUE NATURAL DE DUNAS DE CORRALEJO)がある。

遠浅で海水浴に適しており、マリンスポーツ水上バイク、バナナボート、シュノーケルやカヤック等を楽しむ事も出来る。

#### コフェテ海岸(COFETE)

アクセスが悪いため観光開発されておらず、訪れる人も少ない自然のままの美しい砂浜である。幅約 60m、全長約 14km。風や波は強いが、ヨーロッパで最も美しい砂浜の一つと言われており、リドリー・スコット監督の 2014 年公開映画「エクソダス：神と王」や 2018 年公開のディズニー映画「ハン・ソロ/スターウォーズストーリー」他、多数の映画のロケも行われた。

#### ソタベント海岸(SOTAVENTO)

全長約 10km、遠浅で幅の広い砂浜がある最も人気のあるビーチ。白砂に海水が入り込んで大きな水溜りが出来る風景は美しく、この海岸の写真は島のパンフレットに多く使われている。

#### ベタンクリア(BETANCURIA)

島のほぼ中心にある人口 760 人程の美しい村で、1860 年までは島都であった。

### 10. テネリフェ島 (TENERIFE)

テネリフェ島はカナリア諸島最大の島で、東京都とほぼ同じ面積(2,034 km<sup>2</sup>)があり、人口も最多の約 92 万 8 千人で、外国人は約 14%。また、観光客数も年間約 589 万人と同諸島内最多である。

白砂の美しいビーチが多いラスパルマス県の島々と違い、当島の自然のビーチは黒い砂であるが、緑が多く、高さも姿も富士山によく似たスペイン最高峰のテイデ山(3,718m)を有する。

島都はサンタクルス・デ・テネリフェ市(SANTA CRUZ DE TENERIFE)で人口は約 20 万 9 千人。サンタクルス・デ・テネリフェ県の県都である。

島内には、ワインの D.O.P.が 5 カ所あり、大小 100 以上のワイナリーがある。16～18 世紀にはヨーロッパやアメリカにも輸出されており、シェークスピアの歴史劇「ヘンリーⅣ 世」の台詞や当時の書物にもその名が出るほど知られていた。

#### プエルト・デ・ラクルス (PUERTO DE LA CRUZ)

カナリア諸島で一番小さな市(8.73 km<sup>2</sup>)で、人口約 3 万人。諸島内で最も古からの観光地であり、19 世紀から保養地として知られていた。セサル・マンリケが設計した海水プール、人工池、カジノを有する市営レジャー施設コスタ・マルティアネス(COSTA MARTIANEZ)、新大陸から持ち帰った植物を栽培するため、カルロス 3 世の命により造られた植物園、世界最多のオウムのコレクションやヨーロッパ最大のイルカの水槽等があるオウム公園(LORO PARQUE)等、観光スポットが多い。

#### サンクリストバル・デ・ララゲーナ (SAN CRISTOBAL DE LA LAGUNA)

人口は約 15 万 8 千人。スペインが征服地で築いた最初の非要塞型都市で、新大陸の都のモデルとなった町と言われており、19 世紀まで島都であった。

旧市街は世界文化遺産に指定されている。

#### テイデ国立公園 (PARQUE NACIONAL DEL TEIDE)

島の中央部に位置する、スペイン最高峰テイデ山を中心とした 18,990 ヘクタールの国立公園で、世界自然遺産に登録されている。ロープウェイで、中腹から 3,555m 地点まで 8 分程で上るこ

とが出来る。ロープウェイのホームページ：[https://www.volcanoteide.com/en/volcano\\_teide/teide\\_cable\\_car/teide\\_cable\\_car](https://www.volcanoteide.com/en/volcano_teide/teide_cable_car/teide_cable_car)で予約が可能。問い合わせは、ホームページから、または [info@volcanoteide.com](mailto:info@volcanoteide.com) までメールで。

ロープウェイの駅から頂上までの 200m を登るには、国立公園予約センターのホームページ(<https://www.reservasparquesnacionales.es/real/parquesnac/usu/html/Previo-inicio-reserva-oapn.aspx?cen=2&act=%201>)で事前に許可を得る必要がある。

問い合わせは、Tel. 922-922371。

海拔約 2,152m に国営のパラドール(Parador de las cañadas del Teide : Tel.922-386415 <http://www.parador.es/es/paradores/parador-de-las-canadas-del-teide>)があり、宿泊客向けの天体観測会が毎週金曜夜行われている。

#### イコ・デ・ロスビーノス (ICOD DE LOS VINOS)

人口約 2 万 3 千人。町の中心部に、樹齢約 800 年とされる高さ 16m、周囲 20m のカナリア諸島原産のドラセナ・ドラコの巨木があり、千年ドラゴの木(DORAGO MILENARIO)と呼ばれ天然記念物に指定されている。

また郊外には、EU で最大、世界で 6 番目の長さ(全長 18 km 以上)で、世界でも珍しい 3 層の溶岩洞窟、クエバ・デル・ビエント(CUEVA DEL VIENTO: <http://www.cuevadelviento.net/>)がある。ネットで予約してチケットを購入すれば、ガイド付きの洞窟ツアーが楽しめる。

#### オロタバ (LA OROTAVA)

バナナ畑の広がるオロタバ渓谷の中心地。人口は約 4 万 2 千人。旧市街は、国の歴史芸術遺産及びヨーロッパ文化遺産保存財産に指定されている。

毎年キリスト聖体降臨祭(CORPUS CHRISTI)の祝日には、旧市街の街路にテイデ山の色とりどりの砂や花で絵が描かれ、市役所前の広場では宗教的モチーフの巨大な絵の絨毯が広場全体を埋め尽くす。(2022 年は 6 月 10 日)

### 11. ラパルマ島 (LA PALMA)

面積は 708.32 ㎩ 人口は約 8 万 3 千人で外国人は約 11%。

カナリアでは美しい島(ISLA BONITA)といえば、緑の多いこの島を指す。観光客数は年間 30 人万弱と少なく、発展した観光地ではないが、緑溢れる自然とのどかな雰囲気の魅力で、トレッキングを楽しむためヨーロッパから観光客らが訪れる。

2021 年 9 月 19 日、島の南西部のクンブレビエハ山が噴火し、12 月 13 日に収束(公的な収束宣言は 25 日)するまでの 85 日間に、島の面積の約 10%に当たる 1,219 ヘクタールが溶岩に覆われた。犠牲者はなかったものの、約 7,000 人が避難を強いられ、2,988 戸の建物、約 300 軒の農場、73.8 km の道路が被害を受けた。現在は、この新たな噴火口のガイド付き見学ツアーも開始された。

旧市街のコロニアル風建築物が美しい人口約 1 万 6 千人の島都サンタ・クルス・デ・ラパルマ(SANTA CRUZ DE LA PALMA)は被害を受けなかったが、バナナ栽培の中心地で、人口約 2 万人と島最多のロス・ジャノス・デ・アリダネ(LOS LLANOS DE ARIDANE)の被害は大きかった。

島の特産品は葉巻、バナナ、チーズ等。

5年に1度、聖母ラスニエベスの降臨祭(BAJADA DE LA VIRGEN DE LAS NIEVES)が開催され、夏に約1ヶ月に亘り各種催しが開催されるが、クライマックスの7月12日の聖母の到着(ENTRADA DE LA VIRGEN EN LA CIUDAD)と、7月9日及び18日に開催される“小人の踊り”(LA DANZA DE ENANOS)には多くの観光客が訪れる。2020年は5年に一度の開催年であったが、コロナウイルスのため、1680年の第1回以降初めて中止となった。次は2025年に開催予定。

#### ロケ・デ・ロス・ムチャーチョス天文台 (OBSERVATORIOS ASTROFISICOS DE ROQUE DE LOS MUCHACHOS)

標高約2,400mの山頂にあり、スペインを始めドイツ、イギリス、アメリカ等11ヶ国が参加する北半球有数の天体観測施設が集まっている。口径10.4mの世界最大口径の分割鏡反射望遠鏡であるカナリア大望遠鏡や2基のチェレンコフ望遠鏡MAGICもあり、日本も参加しているチェレンコフ望遠鏡アレイ(CTA)計画の北半球ガンマ線天文台として、更に高精度の大口径望遠鏡など数基の建設も開始されている。

島の外灯の大部分は、天文台に光の影響を与えないオレンジ色の光のものを用いている。

#### カルデラ・デ・タブリエンテ (LA CARDERA DE TABURIENTE)

島中心部にある、直径10km、周囲28km、高低差約1,500mの巨大な火山性のクレーターで、約200万年前の噴火と、その後の山崩れや浸食により形成された。内部にはカナリア松や照葉樹林が生い茂り、わき水の小川や滝があり、キャンプ場も整備された全長70kmに及ぶハイキングコースがある。

### 12. ラゴメラ島 (LA GOMERA)

人口は約2万2千人、面積約400km<sup>2</sup>

世界自然遺産ガラホナイ国立公園を含む島の3分の1が自然保護区域に指定されている。島の低地部分のほぼ全体が渓谷になっており、谷を挟んだ数キロ先の仲間と口笛で会話するシルボ・ゴメロ(SILBO GOMERO)は、ユネスコの無形文化遺産に指定されている。

ビーチもあるが、諸島の他の西側の島々と同様に黒い砂か砂利の浜である。

#### サン・セバスティアン・デ・ラゴメラ (SAN SEBASTIAN DE LA GOMERA)

島都。人口は約9千人である。フェリーやクルーズ船も寄港する港がある。コロンブスが、アメリカ大陸へ遠征する際の最後の寄港地で、コロンブスが滞在したと言い伝えられるコロンブスの家(CASA DE COLON)や関所(ADUANA)、1449年建造の伯爵の塔(TORRE DEL CONDE)等、歴史的建築物もある。

#### ガラホナイ国立公園 (PARQUE NACIONAL DE GARAJONAY)

大昔、南ヨーロッパ及び北アフリカに広がっていた照葉樹の原生林は、ヨーロッパでは氷河期により、アフリカでは砂漠化により消滅したが、カナリア諸島は、そのどちらの影響も受けなかった。特に活発な火山活動もなく、常に雲が掛かり非常に多湿な状態を保つ標高1,487mのガラホナイ峰の800m以上には、島の1割以上の面積を占める世界でも珍しい太古の照葉樹林が現存しており、世界自然遺産にも登録されている。

ヨーロッパやアフリカでは数百年前に絶滅した固有種約 400 種が今でも自生しており、絶滅危惧種の鳥類の生息地でもある。ヨーロッパから多くの人々がトレッキングに訪れる。

### 13. エルイエロ島 (EL HIERRO)

カナリア諸島及び EU の最西端及び最南端に位置する、ラグラシオサ島に次いで面積の小さい島 (278 km<sup>2</sup>で、60 cm程迄成長する島の固有種であるオオトカゲが生息している。

人口は約 1 万 1 千人。人口約 5 千人のバルベルデ (VALVERDE) は、諸島で唯一海に面していない島都である。

ヨーロッパでは数世紀にわたり、この島が世界の端だと考えられていて、数々の伝説と共に「世界の果てにある島」と呼ばれていた。

スキューバダイビングに訪れる人が多く、毎年オンラインでエルイエロ島の海中写真コンテストも開催されている。

島で最も重要とされる行事は、4 年に 1 度 7 月の第 1 土曜日に行われる聖母ロスレイジェスの降臨祭 (BAJADA DE LA VIRGEN DE LOS REYES) である。民族衣装の踊り子たちが、約 28km の山道を太鼓や笛に合わせ、カスタネットを鳴らし踊りながらバルベルデの町まで下る。1741 年から開催されているこの祭りは 2021 年に開催予定であったが、コロナウイルスの流行により、2025 年 7 月まで延期となった。

当島は、全供給エネルギーを風力揚水発電及び太陽光発電の再生可能エネルギーとするプロジェクトの達成を目指し、2014 年 6 月に風力揚水発電所が本格的な稼働を開始した。同プロジェクトにより CO<sub>2</sub> の排出年間約 24,000 トン削減、再生可能エネルギー 100% 供給及び全島民分の飲料水の生産を見込んでいる。2018 年 1 月には 16 日間連続で、全供給エネルギーの 100% を再生可能エネルギーで賄うことに成功し、また、2019 年には年間消費エネルギーの 54%、時間にして年間合計 1,905 時間を再生可能エネルギー 100% で賄い、また CO<sub>2</sub> の排出も年間 23,123 トン削減した。

2013 年 10 月、3 ヶ月に及ぶ群発地震の後、海底火山が噴火したが、現在地震は沈静化している。

### ファロ・デ・プンタ・オルチージャ (FARO DE PUNTA ORTILLA)

島の最西端。アメリカ大陸発見以前、ヨーロッパではここが世界の果てと考えられていた。グリニッチに基準子午線が移される以前、ヨーロッパでは約 200 年間に亘り、この灯台近くのモニュメントがある地点を経度 0 度線としていた。

### 14. 祝祭日

2022 年におけるカナリア自治州の祝祭日は次の通りである。

この他、各島及び各市の祝日がある。

1 月 1 日 (金) 元旦 (AÑO NUEVO)

1 月 6 日 (木) 主顕節の日 (EPIFANIA DEL SEÑOR)

- 3月 1日(火) 謝肉祭(MARTES DE CARNAVAL)
- 4月 14日(木) 聖木曜日(JUEVES SANTO)
- 4月 15日(金) 聖金曜日(VIERNES SANTO)
- 5月 30日(月) カナリアの日(DÍA DE CANARIAS)
- 8月 15日(月) 聖母被昇天(ASUNCIÓN DE LA VIRGEN)
- 10月 12日(水) 国祭日(DÍA DE LA HISPANIDAD)
- 11月 1日(火) 諸聖人の日(DÍA DE TODOS LOS SANTOS)
- 12月 6日(火) スペイン憲法記念日(DÍA DE LA CONSTITUCION)
- 12月 8日(木) 聖母受胎告知の日(DÍA DE LA INMACURADA CONCEPCIÓN)
- 12月 26日(月) クリスマス(NATIVIDAD DE SEÑOR)の振替休日

## 15. 主要連絡先

スペイン国外から電話をかける場合は、最初にスペインの国番号(34)を付ける。

### ・在ラスパルマス領事事務所

住所: C/Triana、120-3º 35002 Las Palmas de Gran Canaria

TEL: 928-244012 / 928-243466 FAX:928-297290

開館時間: 8:30~13:00、14:00~16:30 (7-8月は、8:30~15:30)

領事窓口: 9:00~12:30、14:30~16:30 (7-8月は、9:00~15:00)

\*上記開館時間以外は、事務所電話にて、自動音声による緊急電話番号の案内を行っていません。

### ・緊急電話

緊急 (警察・消防・救急全てを含む) :112 (無休、24時間、西・英・独・仏・伊語で対応)

警察: 国家警察 (Policía Nacional) :091

:902-102112 (9:00-21:00は西・英・独・仏・伊語で対応)

治安警察 (Guardia Civil) :062/ 928-320400

市警察 (Policía Local) :092

### ・国際電話

00—国番号(日本は81)—都市番号(最初の0をとる)—相手先番号

KDDIのスーパージャパンダイレクト(クレジットカード払いのダイヤル通話)のアクセス番号は900-98-0981、同ジャパンダイレクト(オペレーターを通じたコレクトコール)のアクセス番号は、900-99-0981。

### ・観光案内ホームページ(英語)

カナリア諸島	<a href="http://www.hellocanaryislands.com">http://www.hellocanaryislands.com</a>
グランカナリア島	<a href="http://www.grancanaria.com/turismo/en/">http://www.grancanaria.com/turismo/en/</a>
ランサローテ島	<a href="https://turismolanzarote.com/en/discover-lanzarote/">https://turismolanzarote.com/en/discover-lanzarote/</a>
フエルテVENTURA島	<a href="http://visitfuerteventura.es/en/">http://visitfuerteventura.es/en/</a>
テネリフェ島	<a href="http://www.webtenerife.co.uk">http://www.webtenerife.co.uk</a>
ラパルマ島	<a href="https://www.visitlapalma.es/en/">https://www.visitlapalma.es/en/</a>
ラゴメラ島	<a href="http://lagomera.travel/en/">http://lagomera.travel/en/</a>
エルイエロ島	<a href="https://elhierro.travel/en">https://elhierro.travel/en</a>
ラグラシオサ島	<a href="https://turismolanzarote.com/en/la-graciosa-island/">https://turismolanzarote.com/en/la-graciosa-island/</a>